

DXを実現する為の補助金・助成金有効活用

いよいよ本丸登場！

2020年10月23日

日永インターナショナル株式会社
セキュリティのコンビニ 安全堂

<https://anzendo.jp>

Welcome to Nichiei International !

ようこそ。
日永インターナショナルへ。





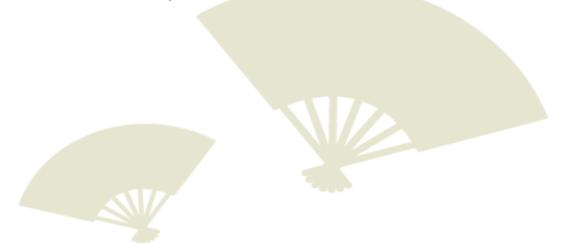
もともとは2004年にスウェーデンの先生が考えた概念ですが・・・



経済産業省の公開した考え方では

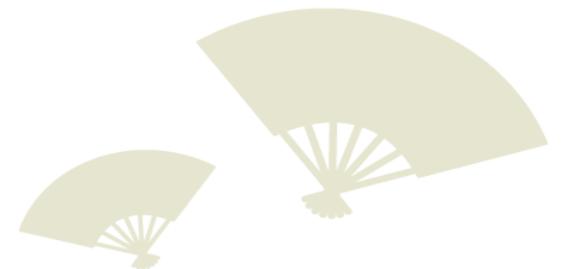
「企業がビジネス環境の激しい変化に対応しデータとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに業務そのものや組織、プロセス、企業文化・風土を変革し競争上の優位性を確立すること」

『「DX推進指標」とそのガイダンス』（令和元年）経済産業省





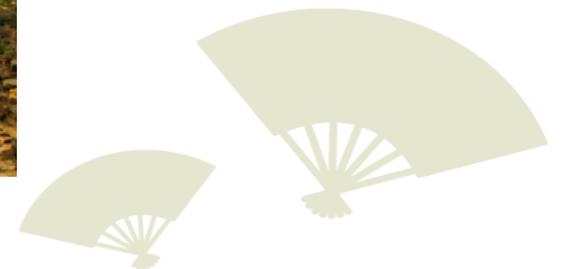
いろいろな概念が出ては消えていきました・・・





要は何をすれば良いの？

経済産業省はこんなことを言っています。

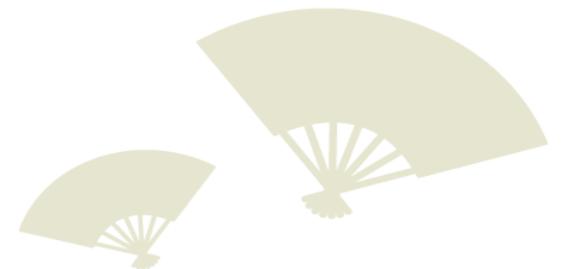




- ◆ 部署毎にレガシーな（古い）システムが温存されていて、かつ過剰にカスタマイズされているため、全社でデータ活用ができない。
- ◆ 経営者がDXに取りかかりたくても、既存のシステムの問題があり、業務の見直しも必要であるため、現場の抵抗も大きい。

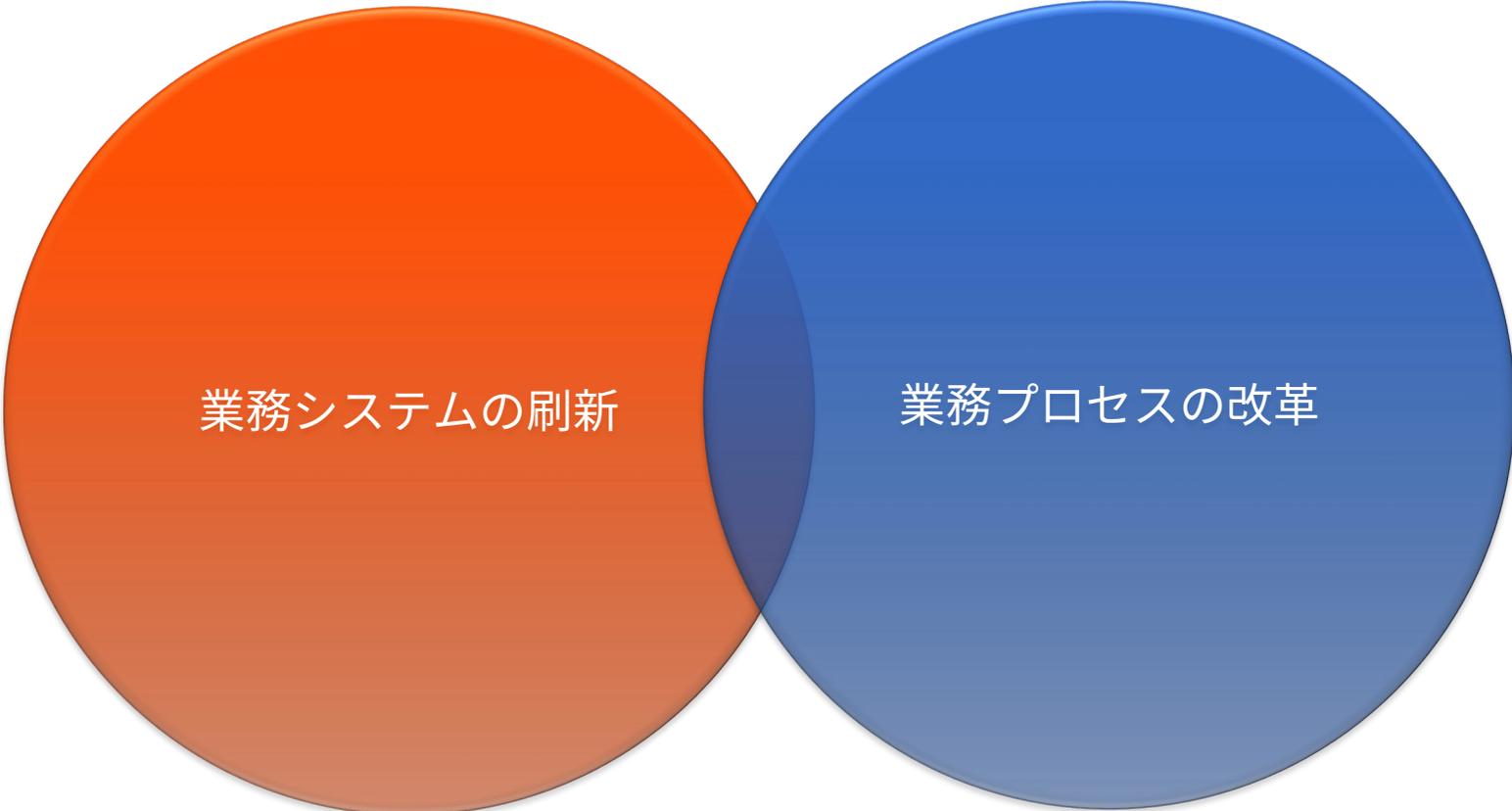


2025年頃には経営面・人材面・技術面の克服ができないと、最大で12兆円/年の損失
（2025年の崖）



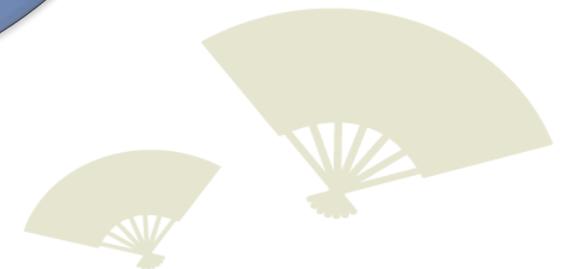


経済産業省はこう言っていますが・・・
要するにこういうことです！



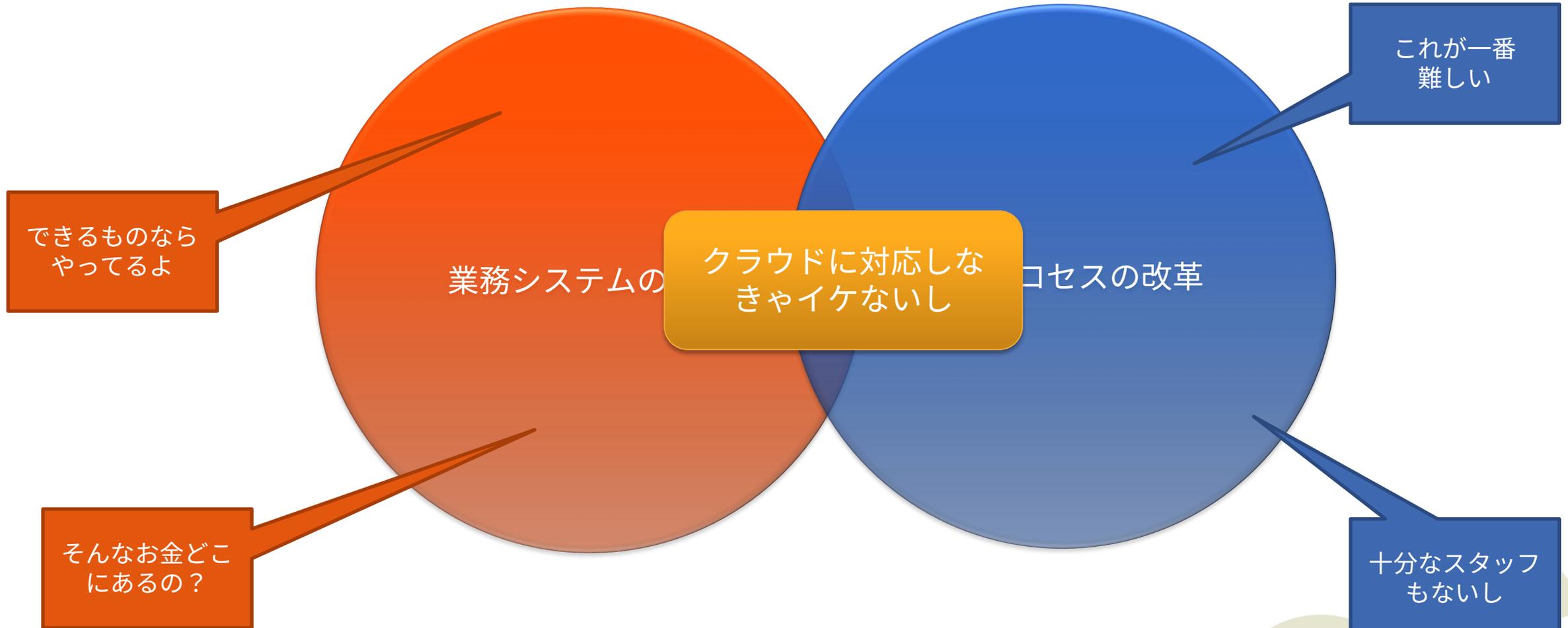
業務システムの刷新

業務プロセスの改革





但し、言うは易く行うは難し





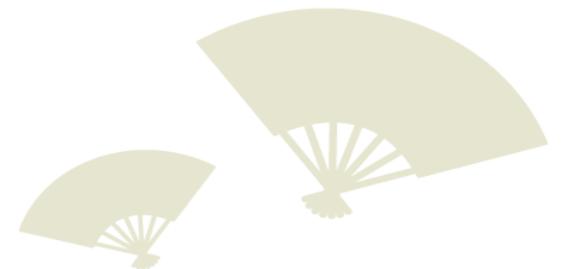
いわゆる大手企業

2020年東京オリンピック・
ら期間中のテレワーク実施

大手企業も中小企業も否応なくテレワーク環境に突入！

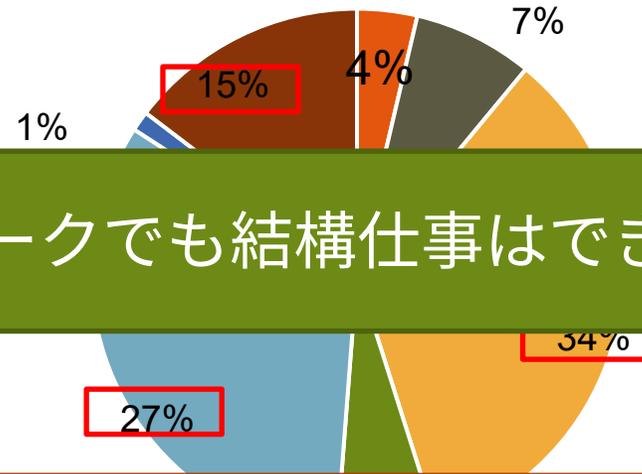


通混雑を想定し、数年前か
ってきた。テレワーク環境に突入！





テレワークに関して困ったり気づきを得られたこと



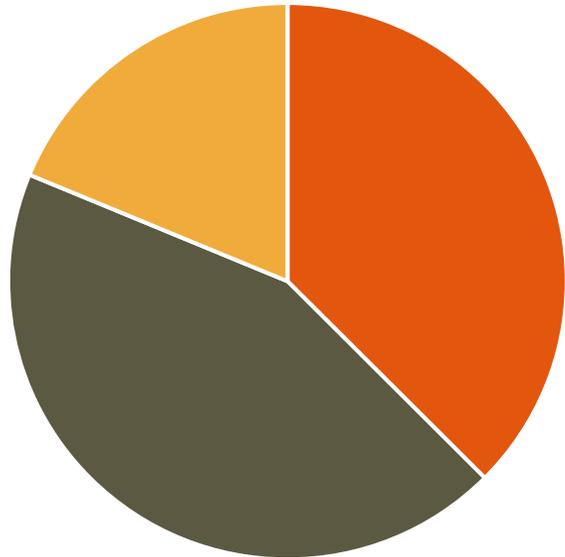
テレワークでも結構仕事はできてしまう

でもテレワークに否定的な人もそれなりにいる

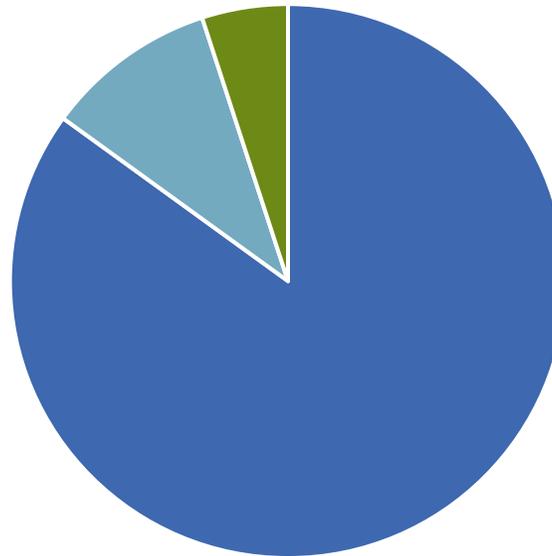
- 在宅勤務・テレワークを利用する際に必要な機材・サービスの選定に苦労した
- 在宅勤務・テレワークで意外と仕事ができる
- 在宅勤務・テレワークではあまり仕事はかどらない
- 今後も自社では在宅勤務・テレワークを一定程度進めていく
- 緊急事態宣言終了後は在宅勤務・テレワークをやめて通常勤務に戻す
- 今は様子見で在宅勤務・テレワークを一定程度入れているが、段階的に通常勤務に戻す



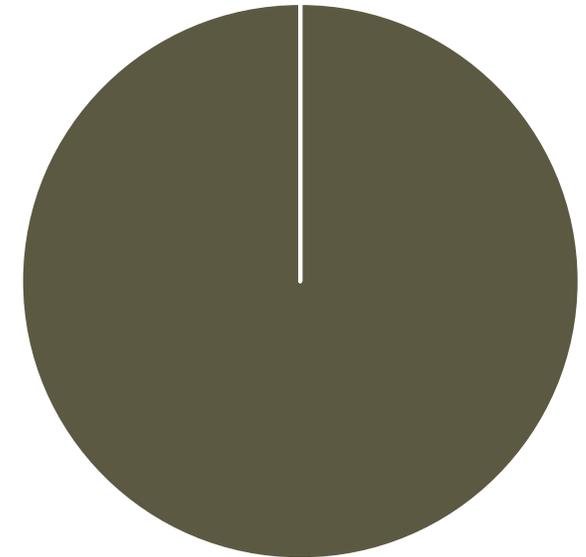
コミュニケーションの頻度



Web会議の活用



チャットの活用



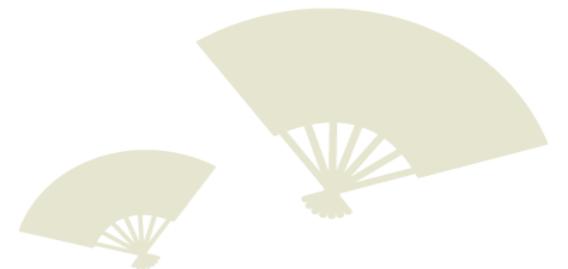
■ 下がった ■ 変わらない ■ 上がった ■ 有効活用できた ■ あまりできなかった ■ むしろ会議が増えた ■ 有効活用できた ■ あまりできなかった ■

テレワーク下でもコミュニケーションの質はそれなりに維持できている



一般の勤務者・労働者はテレワーク・在宅勤務という働き方をあっという間に受け入れた。

多くの企業はポストコロナにおいてもテレワークを一定程度利用し続ける。



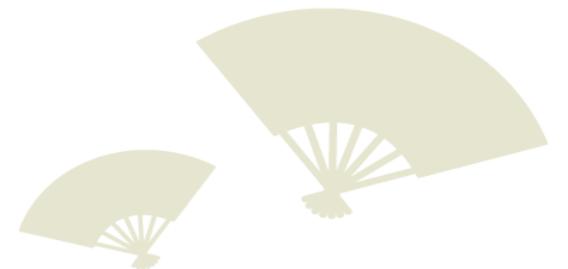


2020年6月19日～7月10日 「ポストテレワーク・新しい仕事時間と在宅勤務を考える」 オンラインセミナー
参加者のアンケート結果においてこんなご意見が・・・

私自身はテレワークに取り組んでそれなりに効率的にできていると思います。

しかしながら、私の会社のほとんどの人がテレワークをやりたくないと拒否しています。

もちろんテレワークができる職種・部署やそうでないところがあるのは理解できますが、なぜこんなにテレワークを嫌がるのでしょうか？





- ① セキュリティの問題がある
- ② コミュニケーション不足が懸念される
- ③ 労務管理がしにくい
- ④ 評価制度の見直しが必要になる
- ⑤ 導入コストがかかる
- ⑥ 日本型の働き方から抜け出せない
- ⑦ 業務がテレワークに適していない
- ⑧ プライベートとの切替が難しい

③④⑥ いずれも一緒に働き方の問題

⑧ 従業員の意識とテレワークへの慣れが必要

①②⑦⑧ 適切な導入方法があれば解決できる問題

<https://moconavi.jp/blog/2019/08/2034/>



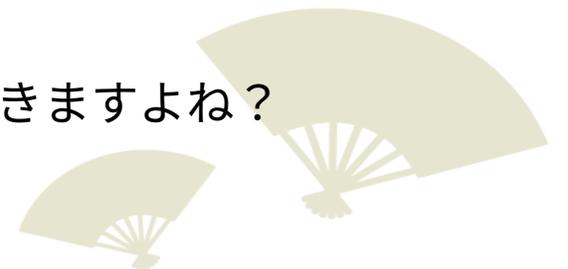


テレワークを拒否する理由（代表的な例）

1. 小さな子どもがいるなどの家庭の事情で業務をしにくい。
仕方がない
2. テレワークに自分の職種や業務内容があわない・できないと思い込んでいる。
なんとかならない？
3. 企業のインフラがテレワークに向けて不備で快適に業務ができない。

テレワークでも業務ができる適切な環境

があればテレワークできますよね？





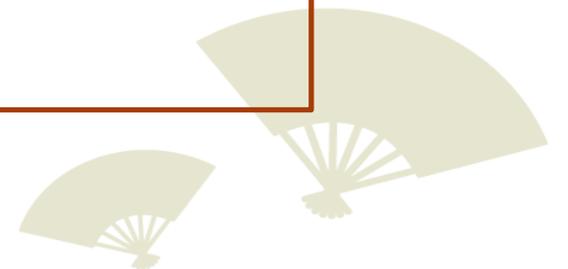
これが全てではありませんが、主なところで・・・

厚生労働省
働き方改革推進支援助成金
(テレワークコース)

2020年8月12日で締め切り
2020年9月2日再開も9月18日で締め切り

経済産業省・一般社団法人 サイバーセキュリティ推進協議会
IT導入補助金2020
(令和元年度補正サイバーセキュリティ向上IT導入支援事業)

2020年8月31日で締め切り



でもまだ大丈夫！



厚生労働省「働き方改革推進支援助成金」には2つのコース

働き方改革推進支援助成金（テレワークコース）

令和2年度分 2020年8月12日 募集終了

令和3年度分 2021年4月1日受付開始（推定）

狙い目はココ！

働き方改革推進支援助成金（新型コロナウイルス感染症対策のためのテレワークコース）

一次募集は2020年5月29日で予算超過のため終了

「テレワークコース」終了に伴い2020年9月1日に二次募集再開も
9月18日で予算超過のため終了





厚生労働省・日本テレワーク協会（テレワークコース・新型コロナ対策コース共通）のケース

◆テレワーク用通信機器の導入・運用

✓ シンクライアント端末（パソコン等）の購入費用は対象となりますが、シンククライアント以外のパソコン、タブレット、スマートフォンの購入費用は対象となりません

◆就業規則・労使協定等の作成・変更

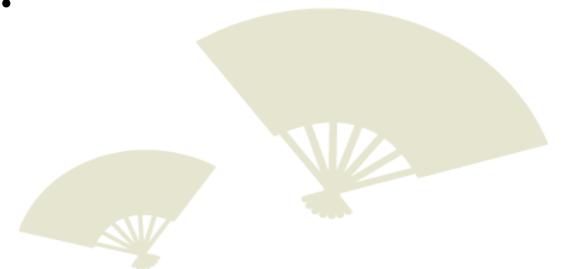
◆労務管理担当者に対する研修

◆労働者に対する研修、周知・啓発

◆外部専門家（社会保険労務士など）によるコンサルティング



パソコンなどの端末やプリンター等はグレーゾーン！
（厚生労働省の担当官次第・・・）





厚生労働省・日本テレワーク協会のケース

あるメーカーの「モバイルシンククライアント」



シンククライアントと銘打っていても、
対象となるとは限らない





1. ストライクゾーンがかなり広い！
2. 助成額の上限が200万円（予想）と使い勝手がよい
※令和二年度募集の「働き方改革推進助成金（テレワークコース）」は新型コロナウイルス感染症対策の目的で一時的に支給額が増額されていました。来年以降の金額は不明ですが、令和元年度以前の金額で想定しています。
3. 申請は面倒で敷居は高いが、認められれば会社のテレワーク環境を**大幅・劇的に改善**できる！



テレワーク環境整備だけでなくデジタル化で業務効率が上がって収益も拡大できます！





せっかく補助金・助成金が活用できるのであれば

なかなか高額で投資が難しい場面
(製品) に



多くの従業員に対応させるためカバレッジの広い場面
(サービス) に



買ってきておけば使えるものではなく調整が必要な場面
(作業) に





社外から社内環境へのアクセスの改善

社内に保存されている各種ファイル・データやアプリケーション等に社外（従業員の自宅）からアクセスできるようにすることで、テレワークの対象者は劇的に広がります。
従来「テレワーク」に向かないとされてきた総務・人事・経理・会計部門のスタッフも対象となります。
一方で、社外→社内へのアクセスはテレワークにおいて**最もストレスフルな場面**でもあります。

- ✓ 中々つながらない
- ✓ つながってもすぐ切れる
- ✓ データの通信速度が遅い・・・etc



アクセス環境のために必要なVPN (Virtual Private Network)の構築には、比較的高額なゲートウェイが必要に**補助金・助成金の出番！**
ゲートウェイの設置と利用には専門のネットワークエンジニアによる設計・構築が不可欠





厚生労働省・日本テレワーク協会のケース

業種	A. 資本または出資額	B. 常時雇用する労働者
小売業（飲食店含む）	5,000万円以下	50人以下
サービス業	5,000万円以下	100人以下
卸売業	1億円以下	100人以下
その他の業種	3億円以下	300人以下

ストライクゾーンは結構広いです！





厚生労働省・働き方改革推進助成金（テレワークコース）のケース（令和元年度以前）

【主な支給要件】

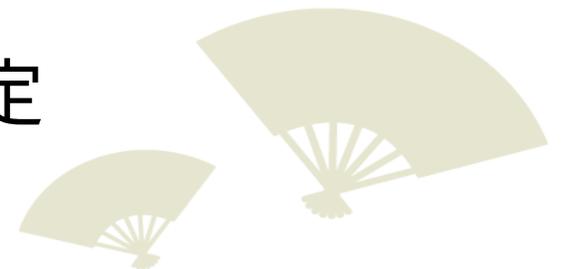
◆ 成果目標を設定してテレワークを実施すること

1. 評価期間に1回以上、対象労働者全員に、在宅又はサテライトオフィスにおいて就業するテレワークを実施させる。
2. 評価期間において、対象労働者が在宅又はサテライトオフィスにおいてテレワークを実施した回数の週間平均を、1回以上とする。

※派遣労働者も対象となりますが、その派遣労働者を雇用する派遣元事業主が、その派遣労働者を対象として同時期に同一措置内容につき助成金を受給していない場合に限りません。

※少なくとも1人以上が直接雇用している労働者である必要があります。

【評価期間】 ※令和2年度のケース
令和3年2月15日までの間で1ヶ月～6ヶ月の期間で設定





厚生労働省・日本テレワーク協会のケース

対象経費

謝金、旅費、借損料、会議費、雑役務費、印刷製本費、備品費、機械装置等購入費、委託費

※ 契約形態が、リース契約、ライセンス契約、サービス利用契約等で「評価期間」を超える契約の場合は、「評価期間」に係る経費のみが対象

補助率

内容	補助率 補助額
補助率	1/2
1企業当たりの上限額	200万円

助成額

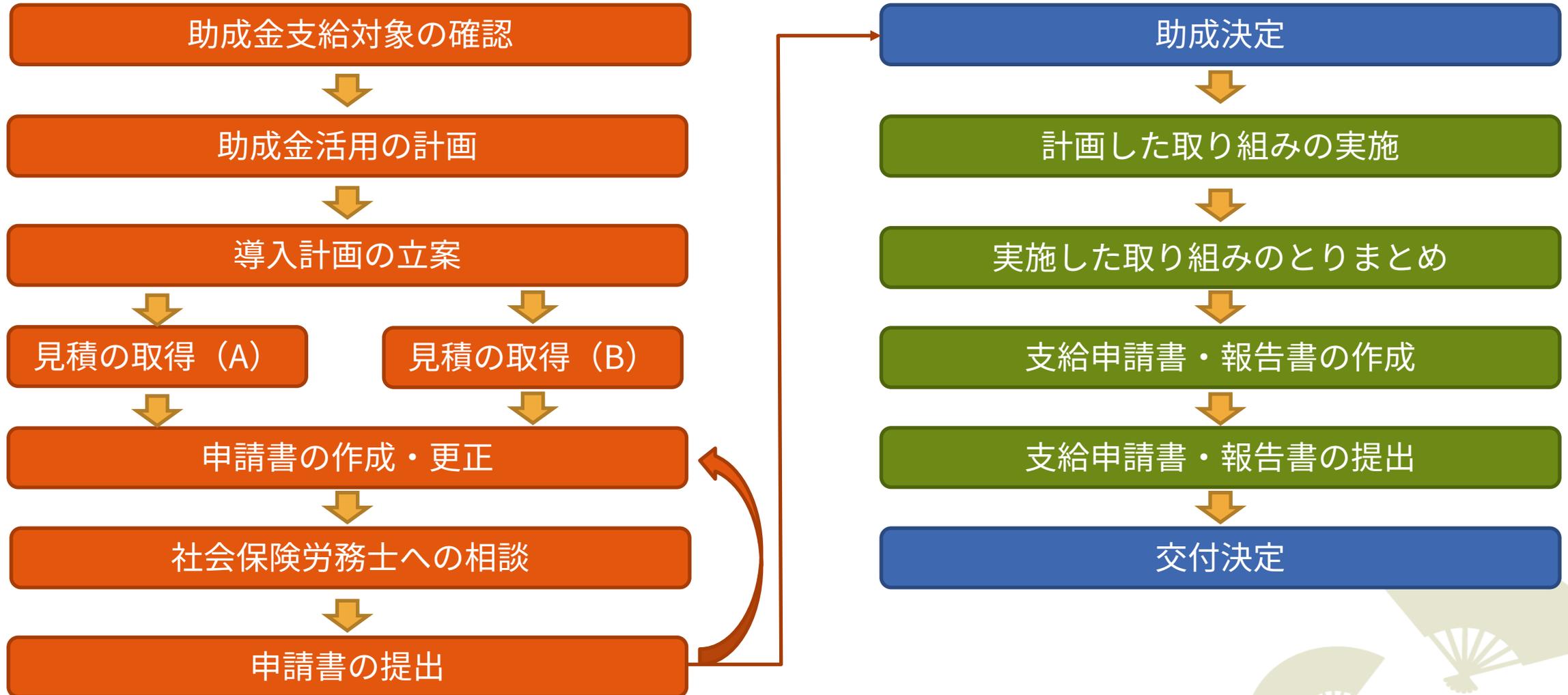
対象経費の合計額 × 補助率
(上限額を超える場合は上限額 (※))

補助率1/2で最大200万円

補助金・助成金制度活用プロセス



厚生労働省・日本テレワーク協会のケース





実際申請&取り組みをやってみて感じたこと

1. 交付要綱・支給要綱の
厚生労働省の考え方次第
✓ (代表例：シンク)
2. 取組期間中の実際の
取り組み
✓ 申請書に添付する
✓ E-mailは在宅勤務
CCに入れて提出
✓ 支給申る証拠書類
3. 支給対象の製品やサービス選定には相見積もりが必須。
4. 今自社にある環境に何を追加して何を無くすのが良いことなのか、検討が複雑で大変。

実際に対象となるかは厚

(車)
られるのがE-mailとGPSの

レワーク協会の担当者を

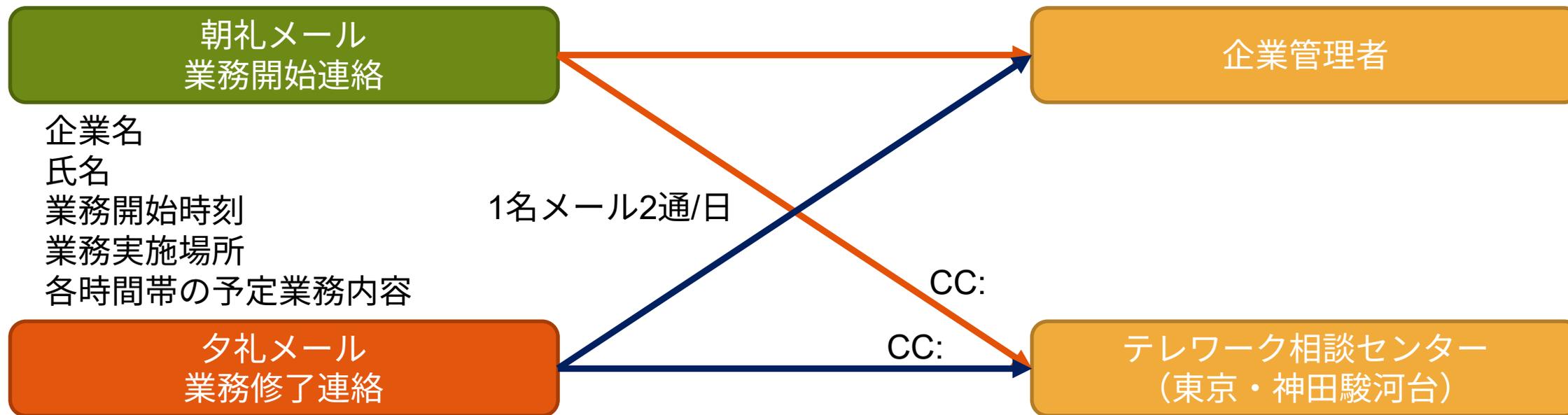
必要がある。





テレワーク実施のエビデンス (E-mailのケース)

※テレワークコースの場合

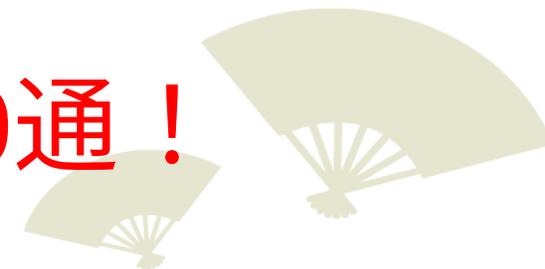


企業名
氏名
業務開始時刻
業務実施場所
各時間帯の予定業務内容

企業名
氏名
業務終了時刻
業務実施場所
各時間帯の実施業務内容

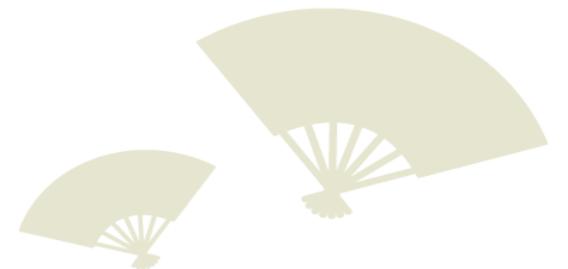
対象者100名で実施期間1ヶ月(20営業日)なら

2通×100名×20営業日=4,000通!





1. 経営者はこの助成金制度で「パソコン」を買いたがるが、やめた方が良い。
 - ✓ 在宅勤務・テレワークの為に必要なものしか助成は認められない。
2. せっかくなので、取組時に対象としている社員以外の方がテレワークをしたとしても快適に利用できるレベルを想定すること。
 - ✓ テレワークが必要なのは「働き方改革」のケース以外に「感染症」「大規模災害」等結構ある。
 - ✓ 会社のネットワークに外部からアクセス使用としてトラブルが起きることはよほど慎重に構成しないと頻繁で大変！
3. テレワークは社員の自宅の「極めて脆弱な」ネットワーク利用が前提になるので、情報漏洩対策は徹底すること。



だから今から準備しましょう！



実は準備期間は半年ありません。
スタートダッシュのため
準備しましょう！

2021年4月1日（推定） 令和三年度分受付開始



2021年12月17日頃（推定） 令和三年度分受付終了



2022年2月15日頃（推定） 令和三年度分評価期間



2022年3月31日頃（推定） 令和三年度分実施報告起源

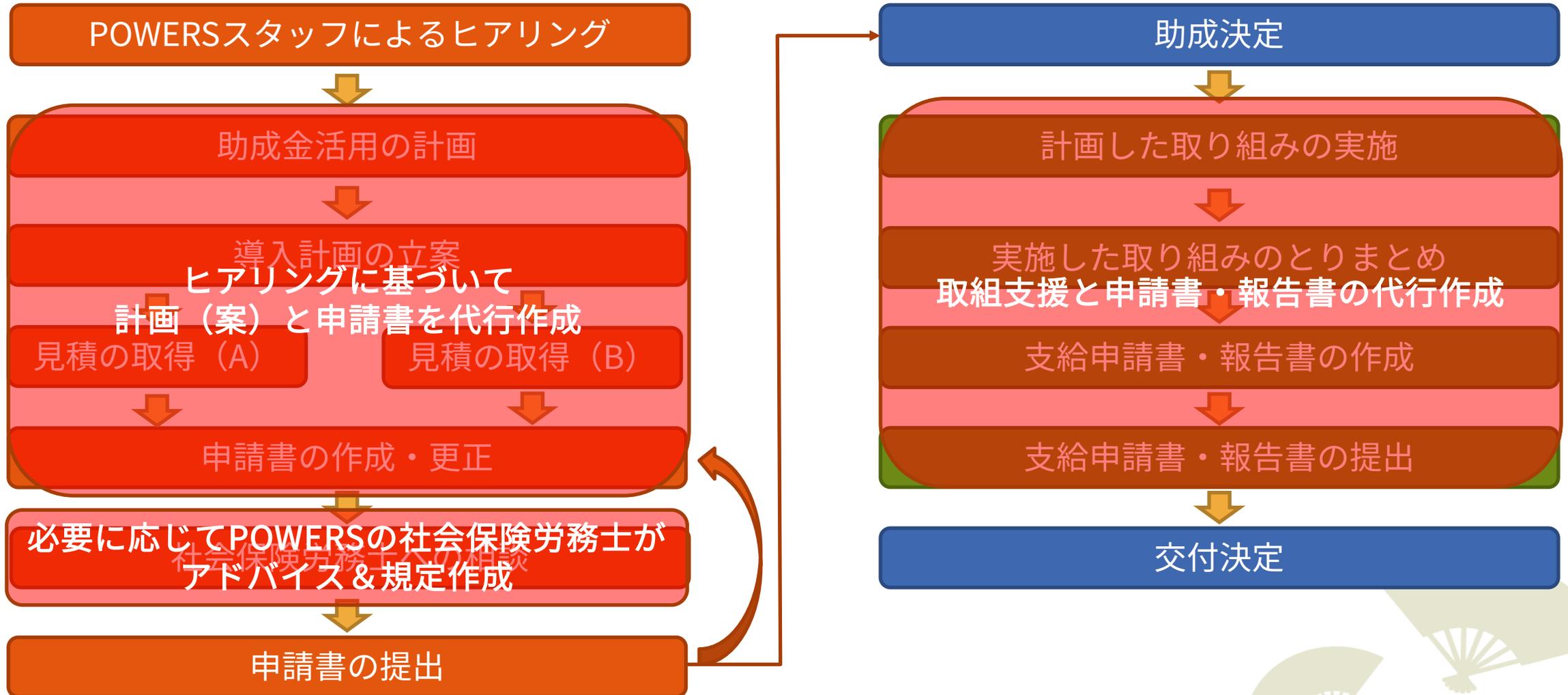
多分来年も申請の殺到が予想されます。



テレワーク助成金ワンストッププラン



厚生労働省・日本テレワーク協会のケース





1. ほとんどのプロセスを経験豊富なスタッフ・社会保険労務士・エンジニアが**実質代行**。
2. 「製品売り」「サービス売り」ではないので、全体としてテレワークを十分活用できる「**ソリューション**」として提供。
3. 計画の策定から実施の支援・アドバイス、受給に係る申請書の作成提出、機器・サービス・サポートが**全てパッケージ**。



手間と計画立案や申請書の作成・更正・再提出などのプロセスに時間をかけるのはやめましょう！

必要なのは素晴らしいテレワークの実施による業務効率化と収益の向上だけ！





ワンストッププランのご相談はWebでかんたん！

(Web)
在宅勤務.jp (https://zaitakukinmu.jp) のトップページのボタンからどうぞ！

The screenshot shows the homepage of zaitakukinmu.jp. It features a grid of six service categories, each with an icon and a brief description. At the bottom center, a prominent button is circled in red, advertising a one-stop service for applying for and receiving the POWERS telework subsidy. On the right side, there is a search bar and a '検索' (Search) button, followed by a section for '最近の投稿' (Recent Posts) listing several events and seminars with their dates.

検索

最近の投稿

(参加御礼) 広島会場 DX & セキュリティサミット2020
2020年10月22日

福岡会場変更のお知らせ (DX & セキュリティサミット2020)
2020年10月19日

POWERS DX & セキュリティサミット in 広島 & 福岡 (オンライン同時開催) エントリー受付中
2020年10月7日

POWERSセキュリティサミットin大阪・静岡・札幌エントリー受付中
2020年7月21日

第3回POWERS オンラインセミナー 在宅勤務・テレワークの業務効率化 エントリー受付開始
2020年6月25日

コロナ禍のテレワーク、VPNに課題 (SalesZine)
2020年6月19日

テレワーク基礎知識
実際にテレワークをするにあたって必要な基礎知識を身につけましょう。

使えるソリューション
テレワークの実現には様々なツールやサービスを適切に組み合わせる必要があります。最新のテレワークソリューションをご紹介します。

今日から始めるテレワーク
テレワークのとりあえずのスタートに多額の資金も時間も不要です。フリーでトライアルが可能なソリューションを試してみましょう。

セミナー・イベント
在宅勤務.jpでは皆様に安価で使いやすくすぐに導入できるテレワークを考えていただく為のセミナーやイベントを随時開催しております。

FAQ
テレワークや在宅勤務、リモートワークに関するよくある質問にお答えします。

テレワークニュース
テレワークや在宅勤務に関する最新情報を随時お知らせ致します。

コンサルティングから申請・受給まで全てがワンストップ
POWERSテレワーク助成金ワンストッププラン

Webinarご参加の皆様に素敵なプレゼント！

Cisco Duo Security & Cisco Umbrella フリートライアル



JBL 完全ワイヤレスヘッドフォン
REFLECT FLOW

<プレゼント条件>

1. プレゼントは1社あたり1つ
2. Duo及びUmbrellaのトライアルを指定サイトからお申し込み
3. トライアルを実施し、終了後にアンケートに回答

※過去にUmbrellaのトライアルを実施済の場合はDuoだけで可

※過去にDuoのトライアルに参加済の場合は対象外

